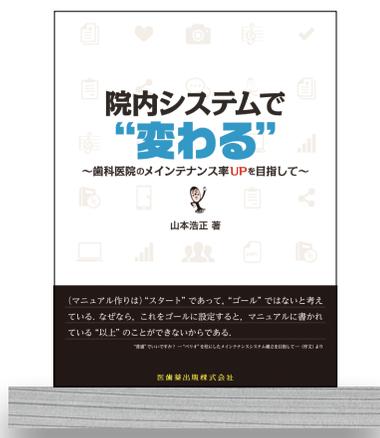


ペリオのプロフェッショナルを 目指す歯科衛生士にお勧めの 1 冊



院内システムで“変わる” ~歯科医院のメンテナンス率UPを目指して~ 山本浩正 著

A4判変/142頁 定価：本体 5,800円+税
医歯薬出版（2016年11月）

東京都調布市・小林歯科医院
評・小林明子（歯科衛生士）



「“普通”でいいですか？」——本書は冒頭からストレートに切り込んでいきます。普通って何でしょうか？普通じゃだめですか？本書を手にして、そんな問いをみずからに課したいと思いました。

現在、歯周基本治療を行い、予防の考えを軸にメンテナンスを提供している歯科医院が増えてきていることを実感しています。しかしながら、「これまで習ってきたスキルで検査、SRPを行い、定期的にメンテナンスを実践しているのに再発を繰り返す」「患者さんがメンテナンスの成果を実感できずに、なんとなく来院が途絶えてしまって続かない」と悩んでいる方がたくさん見受けられます。歯周病は完治することがない慢性疾患です。そのような疾患にどう向き合い、どうしたら患者さんの心を動かすメンテナンスを提供できるのでしょう

か。患者さんのメンテナンス率をアップさせていくためにはどんなスキル、アイデアが必要なのでしょう。そのためにはマニュアルにはない、一人ひとりの患者さんに寄り添った対応ができるように最大限の努力が必要です。これを歯科医院全体で行っていくためのシステムづくりが解説された本書には、おおいに興味がそそられました。

本書は5つのPartに分かれて構成されています。Part1「院内のPCネットワーク&検査システム」では、PCソフトをフル活用した具体的な検査・評価方法を院内ネットワークで共有するシステムが紹介されています。検査・計測の際には患者さんへどんな気配りや配慮が必要なのか、またそれらの検査結果をどのように評価していくのかについて、とても興味深い内容が述べられています。

また、毎回、その日の検査結果や評価内容だけを患者さんに伝えるのではなく、継続的な検査データをもとに患者さんの口腔内の変化から評価・分析した、その内容を伝えていくことがもっとも大切になります。これはアナログではたいへん煩雑な作業になりますが、PCソフトを活用することで瞬時に患者さんにわかりやすく提供することができ、患者さんのモチベーションアップに直結することを実感しています。

また、本書では著者が経験した日ごろの何気ない出来事や著者が感じたことがエピソードとして紹介されています。随所に著者の人に対する観察力や慈しみの心が感じられます。患者さんと長期にラポールを形成していくためには、医療者として感性の豊かさが絶対に必要なものだと再認識させられました。継続して患者さんに寄り添った最適なメンテナンスの提供を目指す、すべての歯科医師、歯科衛生士にぜひ共有していただきたいすばらしい1冊です。